

21. 肺炎患者の死亡率

1. 指標について

肺炎は、肺結核、院内肺炎、日和見肺炎、閉塞性肺炎、大量誤嚥による肺炎、慢性下気道感染症の急性増悪などを十分に鑑別する必要があります。肺炎はわが国の死亡統計でも死因の第4位であり、初期治療の選択が重要です。原因となる病原微生物、治療を受ける場所、治療に関わる医師、抗菌薬がさまざまであること、いろいろな治療が行われることから、退院時の転帰をみることで肺炎治療の病院成績をみることができます。

2. 当院での定義・計算方法

分子： 退院時主病名が肺炎である18才以上の死亡患者数

分母： 退院時主病名が肺炎である18才以上の患者数

3. 当院の数値

2015年度 5.3%